

# 美波町 議会だより

第46号 平成29年9月定例会

平成28年度決算認定	……	p2
9月定例会の概要	……	p6
各議員の賛否	……	p10
議長の主な活動状況	……	p11
委員会報告	……	p12
一般質問	……	p16



『由岐地区共楽運動会』  
(11月3日)



平成28年度一般会計、特別会計および公営企業会計決算認定の議案が提出され、審査した結果、すべて原案のとおり認定しました。

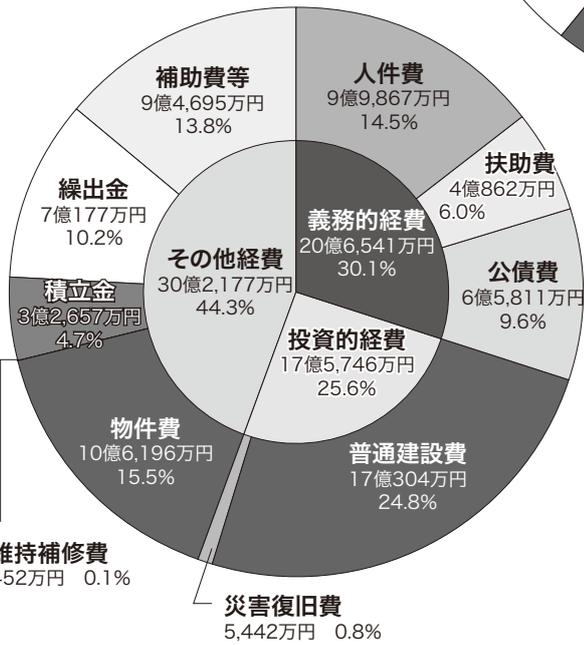
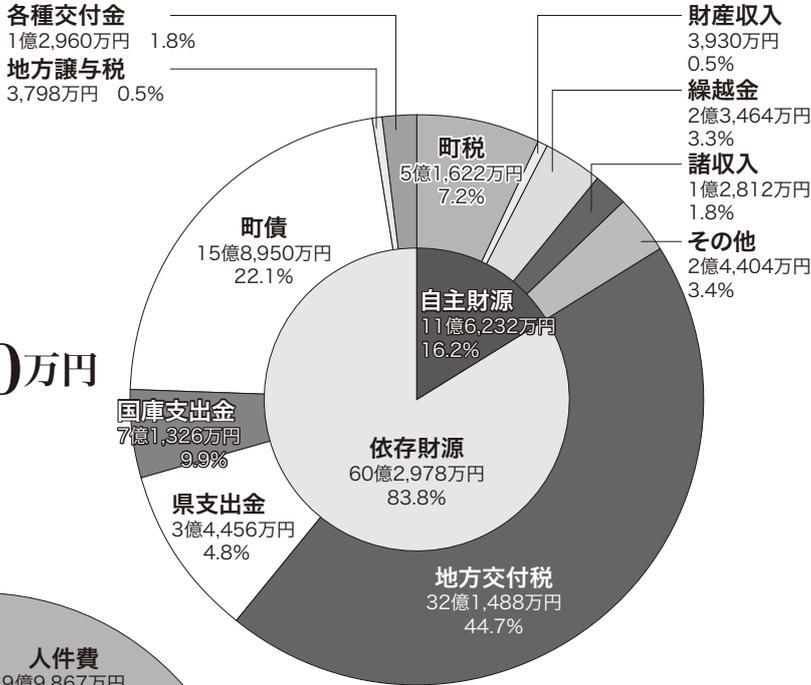
平成28年度一般会計 歳入・歳出決算の内訳

# 歳入

## 一般会計

歳入総額

71億9,210万円



# 歳出

## 一般会計

歳出総額

68億6,463万円

### 特別会計

(万円)

特別会計	歳入総額	歳出総額	差引残額
国民健康保険	12億3,372	12億3,136	236
育英奨学貸付	1,721	1,680	41
赤河内財産区	974	18	956
簡易水道	9,903	6,757	3,146
漁業集落排水	2,035	2,032	3
公共下水道	1億3,739	1億3,388	351
介護保険	12億7,193	11億5,807	1億1,386
診療所	2億2,880	2億2,003	877
後期高齢医療	1億4,702	1億4,257	445

### 公営企業会計

水道事業 (万円)

区分	総収益	総費用	差引
経常的	8,383	7,166	1,217
資本的	2,276	3,129	▲853

病院事業 (万円)

区分	総収益	総費用	差引
経常的	7億4,382	8億1,535	▲7,153
資本的	4,000	0	4,000

■ 目的別経費の状況

**議会費**  
**6,339万円**  
議会の運営費など

**総務費**  
**7億6,287万円**  
庁舎などの管理運営・企画調整事務・財務管理など

**民生費**  
**13億8,725万円**  
社会福祉や生活扶助、人権啓発費など

**衛生費**  
**19億7,772万円**  
保健衛生、ごみの清掃、し尿処理など

医療保健センター



**農林水産費**  
**3億1,532万円**  
農業・林業・水産業の振興など

**商工費**  
**7,072万円**  
商業・工業の振興、観光事業など

**土木費**  
**3億1,662万円**  
道路・橋の建設、維持管理など

道路改修（日佐停車場線）

**消防費**  
**4億1,505万円**  
消防・水防・防災対策など

神極田避難路

**教育費**  
**5億1,670万円**  
教育・文化・スポーツ施設の充実など

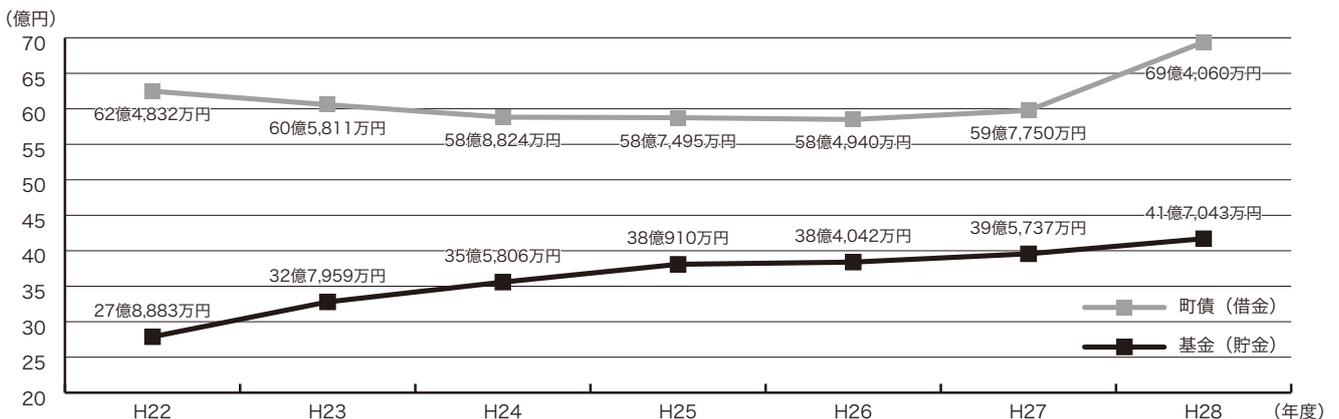
コミュニティホール

**災害復旧費**  
**5,431万円**  
大雨・暴風・地震などで被災した施設等の復旧費

**公債費**  
**6億5,811万円**  
元金・利子の償還（借金返済）

**諸支出金**  
**3億2,657万円**  
基金積立金など

■ 町債（借金）基金（貯金）の推移（普通会計）



# 総務産業建設常任委員会決算審査

審査を付託された平成28年度の決算について、9月21日議場において、全委員出席のもと開催し審査を行いました。

審査した案件は、認定第1号平成28年度美波町公営企業会計決算水道事業の認定について、認定第2号平成28年度美波町歳入歳出決算（総務産業建設常任委員会の所管）の認定について2件及び、報告第9号平成28年度決算における健全化判断比率について、報告第10号平成28年度決算における資金不足比率についての2件でありました。

**認定第1号 平成28年度美波町公営企業会計決算の認定について（水道事業会計）**についての主な質疑は

- Q.** 昔の石綿管については  
**A.** 国道55号横断部分の一部が残っている。

**認定第2号 平成28年度美波町歳入歳出決算の認定について（総務産業建設常任委員会の所管）**についての主な質疑は

## 《総務企画課関係》

- Q.** 情報ネットワーク、地域情報基盤設備運営事業等の情報化関係の維持管理、保守管理費用について  
**A.** 精査しながら契約等を進めていく。  
**Q.** 住宅促進補助金の利用者は  
**A.** 住宅改修に係る補助金で10件移住者の方が利用している。  
**Q.** 移住交流支援事業の移住相談等の場所と回数は  
**A.** 大阪3件、東京5件

## 《税務課関係》

- Q.** 固定資産税の不納欠損に至った要因は。年間督促及び催告状を何回送っているのか  
**A.** 要因は主に法人で倒産、死亡、住所不明等。督促3回、催告を2回送っている。

## 《産業振興課関係》

- Q.** 有害鳥獣の駆除奨励金が出ているが、生息数は増えているのか、減っているのか  
**A.** 有害鳥獣の頭数の生息数調査を全県的にやっていないので分からないが、減少まではしていない。

このほか、質疑のあった事項としては、小規模事業、収納給付金等についての議論がありました。

**採決の結果、出席委員全員異議なく認定及び承認することに決定いたしました。**

# 文教厚生常任委員会決算審査

審査を付託された平成28年度の決算について、9月21日及び22日の両日議場において全員出席のもと開催し、審査を行いました。

審査した案件は、認定第1号平成28年度美波町公営企業会計決算病院事業の認定について、認定第2号平成28年度美波町歳入歳出決算（文教厚生常任委員会の所管）の認定についての2件でありました。

**認定第1号 平成28年度美波町公営企業会計決算の認定について（病院事業）**については、質疑は無し。

**認定第2号 平成28年度美波町歳入歳出決算の認定について（文教厚生常任委員会の所管）**の主な質疑は

## 《税務課関係》

- Q.** 国民健康保険税滞納者の保険証の使用は  
**A.** 当年度の未納者には、保険証は一年間利用可能で、前年度一年間に滞納があった場合は短期証を発行している。

## 《福祉課関係》

- Q.** 要介護認定が厳しいのではないかと  
**A.** 町には二人の調査員がいるが、包括支援センターを含め話し合いを持っており平準化が図られている。  
**Q.** 高齢者住宅の改造促進事業は利用者の要件はあるのか  
**A.** 何らかの生活に支援が必要で、支障のある方で所得税が非課税の方が対象となる。

## 《教育委員会関係》

- Q.** 町管理の公民館トイレの洋式化については  
**A.** 町管理の公民館トイレはほぼ洋式化されている。地区館は相談しながら検討したい。  
**Q.** 公民館等の施設使用料は高いのではないかと  
**A.** 他町に比べても高いとは認識していない。

このほか、質疑のあった事項としては、マイナンバーの交付率、海部老人ホーム、及び海南荘への入所者数、町民の喫煙者数、DV相談の窓口について質疑がありました。

**採決の結果、出席委員全員異議なく認定することに決定いたしました。**



## 9月定例会の概要

平成29年第3回定例会を平成29年9月13日から9月22日までの10日間開催しました。

影治町長より、6月定例会以降の町政の進捗状況及び定例会に提案されている認定2件、報告2件、計画変更議案1件、条例議案2件、補正予算6件、人事議案1件について提案理由の説明がありました。

### 議案の内容

◆議案第55号 「過疎地域自立促進計画の一部を変更することについて」

●水道施設の東由岐の配水管改良工事

質問 北山議員

配水管の経過年数と、工事区間は。

答 浜水道課長

工事場所は、東由岐の下町地区から中町の筋に入り、家の軒を通して前の家に配水されており、支障をきたすことから移設して改良する。約30数年経過、耐震管を使用し、区間は40M。



配水管改良（東由岐地区）

◆議案第58号 「平成29年度 美波町一般会計補正予算（第2号）」

●土木管理費委託料 500万円

質問 寺下議員

残土処理場の概要は。



残土処理場予定地（阿部大井地区）

答 鶴木建設課長  
阿部の大井地区で、県道から下に向けて、3万㎡ほどの残土を受け入れる計画で、将来的には県道由岐大西線の拡幅、線形改良での活用を考えている。

◆議案第65号 「物品購入契約（日和佐公民館マイクロバス）の締結について」

質問 岩瀬議員

入札は、車種等は決めて出すのか。

答弁 坂本社会教育課長

車体の大きさは指定しており、定員数は22名以上、国産とし、指名入札としている。

質問 北山議員

何社を指名し、何社が加わったのか。

答弁 坂本社会教育課長

町内5業者に指名通知を出し、3社から入札があった。

質問 戒野議員

宝くじの助成対象事業と聞いたが、町の負担はどの程度か。

答弁 坂本社会教育課長

一千万円までは、宝くじの助成で賄えることになっており、ほぼ町の持ち出しはいらぬ。

質問 中川議員

車いすを載せる装置がついているようだが、運転手は特別な資格はいるのか。

答弁 坂本社会教育課長

特別な免許は特に必要としない。

◆請願第2号 「国民健康保険都道府県単位化にかかる意見書提出に関する請願」について

文教厚生常任委員会に付託された請願の審査結果を、委員長から「一部採択」との報告を受けたあと、質疑・討論を行った。

請願事項① 「事業費納付金・標準保険料試算を一刻も早く公表すること」

採決結果

賛成少数で不採択  
(賛成2・反対9)

請願事項② 「国の補助を増額し、払える保険料とすること」

採決結果

賛成多数で採択  
(賛成11・反対0)

請願事項③ 「一般会計法定外繰り入れ、保険料決定など、市町村に係る賦課決定権を侵害しないこと」

●討論

賛成 中川議員

各自自治体が減免制度を作っているのに、法定外繰入を許さんとなると、それが

すべて水の泡になる。徴収率を上げるために、無理な取り立てが横行しないかが心配されることから、従来どおりの賦課決定権を残してほしいことから、賛成する。

採決結果

賛成少数で不採択  
(賛成2・反対9)

請願事項④ 「準備が整わないまま拙速な実施はせず、延期すること」も検討すること」

●討論

賛成 中川議員

徴収強化が起こるデメリットがあるのと、来年4月の実施まで非常に期間が短いということと十分準備をしてからやるべき、と思うので賛成する。

採決結果

賛成少数で不採択  
(賛成1・反対10)

◆請願第3号 「現在のインターネット配信の議会中継に議案審議の映像を含めた中継を求める請願」について

テレビ中継特別委員会に付託された請願の審査結果を、テレビ中継特別委員長から「採択」との報告を受けたあと、質疑・討論を行った。

●討論

反対 江本議員

もう少し時間をかけてやるべきだろうと思うので、反対する。

賛成 寺下議員

議場におけるモニターテレビ画面の設置とか、映像追加による費用の問題、審議の形を変更する場合の協議もまだ残っているため、引き続き調査研究を進めて、見る側により見やすい形でお示しできるように努めることをお願いし、賛成する。

賛成 北山議員

現在も議会中継は実施し

ており、手順の周知はして  
いかなければならないと思  
うので、賛成する。

**採決結果**

賛成多数で採択

(賛成6…反対5)

◆**発議第8号 「全国  
森林環境税の創設に関  
する意見書(案)」**

●**討 論**

**反 対** 北山議員

常任委員会で十分審議を  
して、美波町議会として最  
良の手立てを講じるべきで  
あることから、反対する。

**賛 成** 丸龍議員

先日の総務委員会でも、  
委員、議員それぞれ山林の  
保全の必要性、重要性は、  
認識されている。強靱な山  
林づくりという観点から賛  
成する。

**反 対** 中川議員

基準について非常にあい  
まいで、特定財源かどうか  
はつきりせず、何に使われ  
るか分からないので、反対  
する。

**賛 成** 江本議員

森林整備と環境保全とい  
うことを踏まえ、賛成する。

**反 対** 戎野議員

環境税を徴収してばらま  
くという対応では山林は守  
れるとは思わない。地域の  
中で山林に対する対策をも  
つと地道にするべきである  
ことから反対する。

**採決結果**

賛成多数で採択

(賛成7…反対4)

◆**発議第10号 「学校  
での働き方改革をと  
して教職員と子どもの  
豊かな教育環境づくり  
を求める意見書(案)」**

●**討 論**

**反 対** 寺下議員

教職員の職場環境が厳し  
いことは十分認識しており、  
限定して急いで進めるべき  
である。

すべての労働者に枠を広  
げている部分に関して、反  
対する。

**賛 成** 北山議員

子どもは国の宝であり、  
美波町においてもその通り  
である。それを育てる教職  
員の環境は、まず第一に変  
えていくことは何をおいて  
もするべきであり、賛成す  
る。

**賛 成** 中川議員

教師は聖職者だから我慢  
をしろというのは明らかに  
間違いである。しかも、今  
働き方改革と称して自由に  
無制限に残業できるように  
しようとしている中で、こ  
れはもう看過できないので  
賛成する。

**採決結果**

賛成少数で不採択

(賛成5…反対6)

◆**議員派遣について**

●**討 論**

**反 対** 北山議員

議長が全学的確な内容の  
説明もない中で、広報の委  
員会が行く必要性を全く感  
じない。町民の血税が使わ  
れているのに、費用対効果  
を表せないことから反対す  
る。

**賛 成** 江本議員

地方創生の研修について  
は、報告をしていただくこ  
う形ではないのではないかと  
思うし、議員派遣は必要  
であると考えするため、賛成  
する。

**反 対** 永本議員

あまりにも準備がなく、  
軽薄すぎるので、反対する。

**賛 成** 寺下議員

町の課題について勉強す

ることは大事で、東京研修  
という機会を捉え、個別で  
はなかなか実現できない国  
レベルの勉強会を持つこと  
が、なぜここまで反対され  
るのか。また、平成28年度  
歳入歳出決算についても、  
全員異議なしで認定されて  
いることから、賛成する。

**反 対** 中川議員

派遣命令を議決すること  
によって正当化しようとする  
のは分かる、その点はか  
しくなつたと思うが、広  
報委員会がこの研修をしな  
ければならないのか、その  
辺のところは議長は理解で  
きていないのではないのか。  
この地方創生については、  
いったん削除するか別の項  
にするとか、していただき  
たいので反対する。

**反 対** 戎野議員

勉強に行くのは非常にい  
いと思うが、町民にも報告  
をしていかなければならな  
い。町民から、税金の返還  
請求も受けている中で、同  
じようなことをしているの  
で反対する。

**賛成** 松本議員

議員として多くの研修を受講し、町のためにより良い方向を作っていくことも必要だと考えるので、賛成する。

**採決結果**

賛成多数で可決  
(賛成7・反対4)

**◆発議第6号 「川尻議長不信任決議」について**

川尻議長不信任決議(案)が、永本議員から提出された。

**●討論**

**反対** 江本議員

議長の議会運営には、何ら問題はないと思っており、公正な職務を行われていると理解しているので、反対する。

**賛成** 北山議員

議会の会議は原則公開で

あるにもかかわらず、9月6日の全員協議会を非公開にした。町当局に言われて迎合する姿勢と、住民の知る権利を阻害したことから賛成する。

**反対** 寺下議員

議長として、その職責を果たしていると思う。議事進行上においては、繰り返し小休が取られる流れを生まないような議員個々の協力も必要であると考えため、反対する。

**賛成** 戒野議員

議事録の記載に関して、議長の対応に不信感を与えており、指導もできていないことから、賛成する。

**反対** 松本議員

議長は、反対意見や賛成意見を公平に取り扱っており、職務を遂行されているため、この決議には該当しないため、反対する。

**賛成** 中川議員

議長として、到底職務を遂行するのは無理であると

考えるため、賛成する。

**採決結果**

賛成少数で否決  
(賛成4・反対6)

**◆発議第7号 「寺下議会運営委員長辞任勧告決議」について**

寺下議会運営委員長辞任勧告決議(案)が、中川議員から提出された。

**●討論**

**反対** 江本議員

請願については、何回も会議を開いて審議をし、その結果として結論を出された。正常に運営されていると思うので、辞任勧告に該当しないため、反対する。

**賛成** 永本議員

非常に審査の内容が粗雑であったと思うため、賛成する。

**反対** 丸龍議員

議運の委員長として、そ

の職務を十分果たされていないと思うので、反対する。

**賛成** 戒野議員

請願に付託されたことの内容を審議すべきであり、それをしていない委員長の運営の仕方は全くまずいため、賛成する。

**反対** 松本議員

議会運営や請願・意見書についても、委員および委員外議員の発言を聞き、粛々と的確に公平に委員長

の役職を果たしているため、

**賛成** 北山議員

6月議会で、平成28年度の全員協議会の通知をもらっていないという件について、調査の結果を聞いたなら、委員長は確認を怠りながら、送付されたと答弁した。信用できないので、賛成する。

**採決結果**

賛成少数で否決  
(賛成4・反対6)



## 平成29年第3回定例会 ◆各議員の賛否（全会一致の議案）◆

議 案		結 果
認定第1号	平成28年度美波町公営企業会計決算の認定について	認 定
認定第2号	平成28年度美波町歳入歳出決算の認定について	
報告第9号	平成28年度決算における健全化判断比率について	承 認
報告第10号	平成28年度決算における資金不足比率について	
議案第55号	過疎地域自立促進計画の一部を変更することについて	可 決
議案第56号	美波町子どもはぐくみ医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について(条例第20号)	
議案第57号	美波町町民グラウンド設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について(条例第21号)	
議案第59号	平成29年度 美波町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	
議案第60号	平成29年度 美波町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	
議案第61号	平成29年度 美波町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	
議案第62号	平成29年度 美波町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)	
議案第63号	平成29年度 美波町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	
議案第64号	徳島県後期高齢者医療広域連合議員の選出について	
議案第65号	物品購入契約(日和佐公民館マイクロバス)の締結について	
発議第9号	国民健康保険都道府県単位化に係る意見書(案)	採 択

## ◆各議員の賛否（賛否の分かれた議案）◆ 議長…◎ 賛成…○ 反対…× 退出…退

議 案	議 員 名											結 果	
	舛田 邦人	岩瀬 公昇	江本 昇	北山 朝彦	◎川尻竹藏	松本 晋児	永本善次郎	寺下 博子	戎野 博	向山 篤宏	丸龍 孝敏		中川 尚毅
議案第58号 平成29年度 美波町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○	可 決
請願第2号 国民健康保険都道府県単位化に係る意見書提出に関する請願 ①事業費納付金・標準保険料試算を一刻も早く公表すること ②国の補助を増額し、払える保険料とすること ③一般会計法定外繰入、保険料決定など、市町村に係る賦課決定権を侵害しないこと ④準備が整わないまま拙速な実施はせず、延期することも検討すること	×	×	○	×	—	×	×	×	×	×	○	一 部 採 択	
	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○		
	×	×	×	×	—	×	×	○	×	×	○		
	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	○		
請願第3号 現在のインターネット配信の議会中継に議案審議の映像を含めた中継を求める請願	×	×	×	○	—	×	○	○	○	×	○	採 択	
発議第6号 川尻議長不信任決議(案)について	—	×	×	○	退	×	○	×	○	×	○	否 決	
発議第7号 寺下議会運営委員長辞任勧告決議(案)について	×	×	×	○	—	×	○	退	○	×	○	否 決	
発議第8号 「全国森林環境税」の創設に関する意見書(案)	○	○	○	×	—	○	×	○	×	○	×	採 択	
発議第10号 「学校での働き方改革」を通して教職員と子どものゆたかな教育環境づくりを求める意見書(案)	×	×	×	○	—	×	○	×	○	×	○	不採択	
議 員 派 遣 の 件 に つ い て	○	○	○	×	—	○	×	○	×	○	×	決 定	

※議長は賛否の意思表示をすることが出来ません。

採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。(過半数議決の場合)

議長の主な活動状況

(平成29年6月定例会  
～平成29年9月定例会)

- 6月20日 美波町戦没者追悼式
- 6月28日 徳島県町村議会議長会臨時  
会
- 6月28日 一般国道55号阿南安芸自動車  
道整備促進期成同盟会総  
会(副議長)
- 7月7日 意見交換会(漁業関係者)
- 7月13日 医療保健センター落成式
- 7月14日 徳島県町村議会議長会役員  
会
- 7月15日 うみがめまつり
- 7月16日 ひわさうみがめトライアス  
ロン
- 7月17日 赤松防災拠点施設落成式
- 7月25日 徳島県町村議会議長会総会
- 7月31日 阿南市地域医療確立対策協  
議会
- 8月4日 徳島県町村議会議長会議員  
研修会
- 8月12日 たくままつり(三豊市)
- 8月15日 ふるさと由岐まつり
- 8月28日 海部郡議長会議員研修会

◆ 各議員の出欠状況 (平成29年6月定例会～平成29年9月定例会) ◆

出席…○ 欠席…× 委員外出席…△ 委員外…-

議員名		舛田 邦人	岩瀬 公	江本 昇	北山 朝彦	川尻 竹藏	松本 晋児	永本善次郎	寺下 博子	戎野 博	向山 篤宏	丸龍 孝敏	中川 尚毅
6月30日	文教厚生常任委員会	○	○	△	○	△	△	△	△	○	○	△	○
30日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30日	総務産業建設常任委員会	△	△	○	△	○	○	○	○	△	△	○	△
7月 7日	意見交換会(漁業関係者)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月21日	文教厚生常任委員会(エコパーク阿南)	×	○	△	○	△	-	△	△	○	○	-	○
7月31日	議会広報特別委員会	○	△	△	-	△	○	-	○	△	○	○	△
8月 4日	徳島県町村議会議員研修会(徳島市)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
8月 8日	議会広報特別委員会	○	△	△	△	△	○	△	△	△	○	○	△
8日	文教厚生常任委員会	○	○	△	○	△	-	△	△	○	○	-	○
8月22日	全員協議会	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
8月28日	海部郡議員研修(牟岐町)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×
9月 6日	議会運営委員会	△	△	○	△	△	○	△	○	○	○	○	△
6日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6日	文教厚生常任委員会	○	○	△	○	△	△	△	○	○	○	△	○
6日	議会広報特別委員会	○	△	△	△	△	○	△	○	△	○	○	△
9月13日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月19日	総務産業建設常任委員会	△	△	○	-	○	○	○	○	△	△	○	△
9月20日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20日	テレビ中継特別委員会	-	-	-	○	△	-	○	○	○	○	-	○
9月21日	総務産業建設常任委員会	△	△	○	△	○	○	○	○	△	△	○	△
21日	文教厚生常任委員会	○	○	△	○	△	-	△	△	○	○	-	○
9月22日	文教厚生常任委員会	○	○	△	○	△	△	△	△	○	○	△	○

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみ掲載しています。

# 文教厚生常任委員会報告

(請願審査のため、3回の委員会を開催)

徳島県社会保障推進協議会会長から国民健康保険都道府県単位化に係る意見書提出に関する請願が出され、議長から審査を付託されました。その審査のため委員会を開催しました。なお、審査項目は次のとおりです。

- (1) 事業費納付金・標準保険料試算を一刻も早く公表すること。
- (2) 国の補助を増額し、払える保険料とすること。
- (3) 一般会計法定外繰入、保険料決定など、市町村における賦課決定権を侵害しないこと。
- (4) 準備が整わないまま拙速な実施はせず、延期することも検討する意向。

## 第1回委員会

(平成29年6月30日)

請願者の出席を求め詳細な説明をうけた。

説明では、標準保険料率の試算が公表されないため、県民が意見を述べる機会がない。保険料算定も所得・資産・均等割・平等割の4

方式とか12パターンがある。県下で保険料を統一すると医療水準の高いところは高額、低いところに負担がかかり問題がある。

国保は構造的な問題を抱えており、保険料負担は協会健保等との差があるため、国の負担を増やしてほしい。一般会計からの法定外繰入

れは違法でない。事務に当たってはスピード感を増してほしい。等と説明があった。

また、都道府県単位化に係る今の状況と今後の進め方や請願審査に必要な事項の説明を求めたいとの意見があった。

## 第2回委員会

(平成29年8月8日)

請願事項の審査の参考とするため請願者から頂いた協会健保等の比較表を下に意見交換を行った。

今回の会議での委員の意見は概ね次のとおりであった。

- ・ 請願事項(1)については、町の担当者も事務を進めるにあたって支障をきたすと思われるため早く公表をお願いしてはどうか。
- ・ 請願事項(2)については、低所得者は生活に困っているのは理解できるが(1)を優先してはどうか。
- ・ 請願事項(3)については、現状でも侵害していない状況から、意見書としての提

出は必要でないのではないかと。

・ 請願事項(4)については、準備が出来なければ当然実施できないことは明らかであり、平成30年度施行に向けて国、県、町も事務を進めているため、意見書としての提出は必要ではないのではないかと。

の意見があった。

今の状況と今後の進め方なども知っておく必要があり請願審査にも必要なためこれらに関する事項の説明を県に求めているかどうか。と意見があったため、県担当課と説明会の開催に日程を調整することとした。

## 第3回委員会

(平成29年9月6日)

徳島県担当者から説明を受けるため日程調整を行ったが調整がつかず第3回目の委員会を9月6日に開催し、町の担当課である税務課長から都道府県単位化向けての事務のスケジュール予定の説明を受けた。委員からは委員会として

新制度に向けてスムーズに移行できるようにサポートしなければいけない、新制度の運営方針や納付金確定も急ぐのではないかななどの意見があった。

今回委員会の委員の意見等を集約すると

・ 請願事項(1)については、9月12日火に徳島県が公表することが分かり、意見書を提出する前に実現することが分かった。

・ 請願事項(2)については、国の財政支援をお願いしたい。

・ 請願事項(3)については、一般会計法定外繰入は問題がないと思われる。市町村における賦課決定権は侵害していない。

・ 請願事項(4)については、すでに、平成30年度に向けて全国で準備を進めており、準備が整わないままでは、現実には実施ができないのは明らかであるという意見があった。

以上、各項目について意見が分かれたため、各請願事項毎に採決することとした。

## 文教厚生常任委員会先進地視察報告

### 阿南市のゴミ焼却場を視察研修

今後改築が必要なゴミ焼却場（牟岐町内妻）について新施設建設のための調査をするため7月21日（金）文教厚生常任委員等9人が阿南市のゴミ焼却場（エコパーク阿南）を視察しました。その概要は次のとおりです。

初めに、施設の概要についてのビデオを視聴し次に担当者から説明を受けました。説明では、●エコパーク阿南はD・B・O方式、環境に配慮した施設である。●高額の灰溶融炉を設置、アスファルト材に利用。●ダイオキシン対策に万全を期しており、基準を大きく下回っている。●地元地区との協定は20年（30年は運転できる）としている。●運転監視委員会、監視盤を設置している。●発電設備を設置しており、近代的な施設であることなどの説明を受けました。その後、施設内の見学をさせて頂きました。視察結果は今後、郡内で建設する新施設の規模や整備機能に生かしていきたいと思えます。

（注）D・B・O方式：設計・建設と運営・維持管理を民間事業者に一括発注するもので、公設民営の一つの方式です。



エコパーク阿南（阿南市福井町）

### その他の協議

（第3回委員会）

●ごみ焼却場施設視察日程等について協議（6月30日）  
エコパーク阿南と上勝の

採決結果については、請願事項(2)国の補助を増額し、払える保険料とすること、のみを採択する一部採択となり、本会議に報告することとした。

### ●ゴミ焼却場等の件について（8月8日）

①ゴミ焼却場（エコパーク阿南）視察結果について  
7月21日の視察について意見交換を行った。視察報告は左記のとおり

②学校訪問結果について

ごみゼロウエイストの取り組みについて視察予定として資料や日程を調整することとした。

平成28年度に行った子ども園視察結果について、委員長が視察結果記録表を示し、その後の改善状況を簡単に説明した。

③学級のクーラー設置について  
副委員長からクーラー設置の意見があり、教育委員会としては、まだ財政当局へは協議していないが設置の方向で検討している状況を報告した。

④墓地計画の状況について  
審査結果はまだ出ていないようであると委員長から説明をした。

委員から住民と対立が予想される迷惑施設の設置については、委員会で勉強しておく必要があるのではないか、条例についても検討の必要があるのではないかと意見があつた。

### ●美波町子ども子育て支援事業計画の見直し（6月9日）

平成27年度に策定した当計画の中間見直しとして過去の実績を基に計画数値の見直しや文言の修正を行うと委員長から説明をした。

# 委員会審議

◆請願第3号 「現在のインターネット配信の議会中継に議案審議の映像を含めた中継を求める請願」を採択

現在、パソコン等でインターネットを使って議会中継録画を見ることができるとは、

**1 町長提案理由の説明、**  
**2 議員の一般質問**

に限られた映像しかありません。町が出した議案を議員が審議する状況をネット上にも映してもらいたい、との請願が住民（木岐、賀喜直之さん）より9月6日、提出されテレビ中継特別委員会に審議が付託された。

本議会での議決に先立ち、9月20日開催された委員会では請願事項の①現在放映中のインターネット配信議会中継に議案審議映像を含めることについては既に他

町でも行っているような質問席と答弁席に登壇して、やり取りを放映していく場合は映像等の切り替えがスムーズにゆくが、自席からの質問、答弁では議長の指名でカメラ・マイクの切り替えをモニターで確認後、ゆつくり質疑する必要があるのでなど意見が出された。

請願事項の2点目の住民にインターネットで議会中継を見る方法、手順の周知については、本来もつと早くやるべきではという意見の下、「議会だより」「広報みなみ」等で周知を図っていくことになった。現在の配信に議案審議の分だけ少

平成29年10月13日、委員6人全員出席のもと、9月定例会で委員会に付託された「必要性が明確でない公費・旅費の返還を求める請願」について審査を行いました。

委員からは、

- 研修をするのは、議員の職務であると思う。
- 議長から口頭で、決裁をもらってから、実施している。
- 平成28年度、決算審査時に委員会でも本会議でも全会一致で認定されているため、該当しないと考える。
- 除斥の手続きを行ってから、進めるべきだ。
- 除斥の必要はないと考え

る。

- 27日の出張に関しても、議長が必要性を認め、許可を出されており、その判断のもと、旅費等の支払い手続きが行われている。
- 議長として、私的ではなく、公的な議員派遣として認め、許可を出している。

委員外議員からは

- 26日の広報研修に関しては、派遣命令をいただき、その後、必要性を認められて議長から許可いただいているので、なんら不適切なことはしていない。
- 例えば、被告が裁判官を兼ねるような状況はおかしい、除斥すべきだ。

し時間が長くなった分経費が必要だが大きな出費は伴わないとの事務局の説明を受けて全委員5名の「異議なし」で委員会では採択された。

## 採決結果

全会一致で採択  
(賛成5…反対0)

◆請願第4号が付託された総務産業建設常任委員会の審査について

● 議長が必要性を認めたといい、資料を出してもらいたい。

以上のような議論がなされたなかで、委員長を除いた委員5人で採決した結果、賛成0、反対5で不採択となりました。

## 採決結果

賛成なしで不採択  
(賛成0…反対5)



# 研修報告



9月28日

## ① 日本版DMOについて

国土交通省観光地域振興課の職員からインバウンド政策をはじめ、観光まちづくりの現状と課題やそれを解決するために、観光地域づくりの舵取り役を担う「日本版DMO」組織の必要性、役割等についてお話しいただきました。

DMOの形成・確立に向けては、現状で「広域連携DMO」（7法人）、「地域連携DMO」（県単位19法人、複数市町村連携50法人）、「地域DMO」（81法人）で、今後優良事例の深掘り・横展開を図るとともに、「情報支援」「人材支援」「財政支援」による地域支援により、全国的な取組水準の引き上げを図るということでした。

本町においても関係市町・

団体と連携し、設立に向けて進めているということで、情報共有を図りながら、取り組みを進めてもらいたいと思います。

## ② AI、IoTの活用について

総務省情報流通行政局の職員から、現状や課題についてお話をいただきました。

データ主導社会においては、解析できないくらいの膨大なデータ（ビッグデータ）が収集できるようになり、スマホ等の波及によって、個人データも分析（解析）に活用されている。

これらのビッグデータの分析に、AI（人工知能）が用いられ、ビッグデータは、インフラ課題に役立つよう、IoTによってさまざまなモノ、機械、ヒトに活用されている。オープンデータについては、全国で1788地方公共団体のうち、県38、市町村250自治体が掲載しており、それを活用し、子育てや、福祉、

災害時等の社会インフラ（アプリ開発等）に活用されている。（「オープンデータ100」に活用事例）

市町村によっても考えや取り扱いが異なるが、二次利用として、民間が利活用することと、諸課題の解決や経済活性化につながるものである、という内容で、初めて知ることも多く、全国ではさまざまな先進的な取り組みがなされていることを知りました。

9月29日

## ① NPOふるさと回帰センター視察



## ② 町村議会広報研修

3人の講師の方から、それぞれの視点に立った取り組み方についてお話を伺いました。

- ・小田順子氏からは、見やすくする3つのポイントとして、
- ・図表やイラストを入れる
- ・漢字を少なくする
- ・改行、空白行を入れる
- ・吉村潔氏からは、
- ・議会だよりには情報の付加価値をつける
- ・議案審議や予算・決算審議におけるプロセスの見える化
- ・住民へのインタビュー記事等さまざまな切り口で多様な世代にアプローチすることが大切

芳野政明氏からは、  
・レイアウトを工夫し、余裕のある紙面づくり  
・ページ構成、記事タイトル、標記等も、読み手にとって、見やすく分かりやすいものに工夫する

以上、今回の研修で学んだことを、今後の活動や取り組みに生かしていきたいと思えます。

# 一般質問

## ① 町民の語学（英語）力向上に向けての取り組みを

弁 簡単な英会話が出来よう学習施策を検討したい。



議員 向山 篤宏

質問 2021年に関西圏域で第10回のワールドマスターズゲームズが行われ、美波町はトライアスロン・アクアスロンの会場と決まり多くの外国人が来町することになる。

このイベントは各分野において美波町を世界に発信する絶好の機会としなければならぬ。来町外国人に簡単な歓迎のあいさつや、競技中での励ましの言葉を

町民が英語でフレンドリーに行えば参加者にとっては最高のおもてなしとなり、英語が通じる町として認知度が高くなると思う。また、これを契機に町民の語学力が向上すれば子どもたちの語学力の向上につながり、ひいては国際感覚を身に付けた社会人として各分野で活躍できる人材になると思う。また、それを期待したい。ついては、次の2点について聞きたい。

① 社会人対象の外国語教室の状況について

● 答弁 坂本社会教育課長 ALT等の指導の下、初心者、経験者コースを一年を通じ週に4回行っている。

28年度では、初心者コースは20名、経験者コースは22名が受講した。

② 一般町民の英会話習得への取り組み施策は

● 答弁 坂本社会教育課長

今後は、外国人と接する機会が増えると思われることから、簡単な会話をまとめたパンフレット等の作成配付や、老人大学・女性大学等における学習の機会を検討したい。

## ① 国保会計へ一般会計から繰り入れするののか

弁 法定外繰り入れをすることもあると思われる。



議員 中川 尚毅

るが、繰り入れや軽減制度など、国保税について見通しはどうか。

● 答弁 別宮税務課長

① 29年度国保税の試算案件は、公費が1200億円投入されること、市町村ごとの医療費水準の差、高額医療費（1件1ヶ月80万円を超える分につき）の共同負担などで、町一般会計からの繰り入れは無いとした。

② 標準税額が変動する要因は、医療費や医療費水準、公費、高額医療費の負担な

どがある。28年度は、27年度の調定額に法定軽減分、特別調整交付金、医療費の自然増分を加え、27年度の被保険者で割って計算している。29年度の試算とは条件が異なるので、国保税の差が出た要因を突き止めるのは難しい。

③ 法定外繰り入れをすることもあると思われる。低所得の加入世帯には、均等割と平等割には軽減措置があり、そのほかにも軽減制度や月割り納付などもあり、納税者に合わせた納付方法をとっている。28年度は滞納処分として4件、生命保険と預金を差し押さえた。

## ② 質問

町県民税の過誤徴収について、①経過について説明は受けたが、どんな調査をしたのか。②職員処分と言いが、監督責任はないのか。

● 答弁

他の質問と重なるので無し

① 町長はこの度の選挙で、公約を発表しないで無投票当選したが、たとえ無投票でも立候補者は公約を発表すべきである。今からでも遅くはない、この4年間の公約を発表するよう求める

弁 新たに公約をつくるということは、考えていない。



議員 北山 朝彦

質問

たとえ対抗馬があろうとなかろうと、立候補者は任期中に果たすべき政策課題を公約として町民に発表するのが当然である。

町長は、この度公約を出さずに無投票当選した、今からでも遅くはない4年間の公約を出してはどうか。

●答弁 影治町長  
選挙時の公約を影治信良の主張というタイトルで出した、私はこれを公約と認識している。

質問

公約は町民にわかりやすく、4年間でこれだけのことをやるんだと、分かりやすいものにしてもらいたい。

●答弁 影治町長  
重ねてですが新たに公約を作ることは、今のところ考えていない。

② 平成28年度町県民税課税ミスならびに、関連した答弁、および行政措置に関して町長の感想を問う

弁 本当にあつてはならないことである。信用回復、再発防止に努める。

質問

平成29年4月7日に大量の町県民税課税事務のミスの存在が発覚していながら、「5月の徳島新聞による徳島市の課税ミス報道」に関連して本町の状況を質問すると、「課税については誤りなきよう万全を期している。本来誤りがあつてはならないというのは当然のことである。」と答弁していた。その上、この課税ミスに議会には報告しておかなければまずいと判断して、全員協議会を非公開で開催するよう求めて内容不明確な説明を行った。これは町当局の行政処理判断能力に問題があるのか、でなければ議会軽視の現れといわざるをえない。以上平成28年度町県民税課税ミスに関して、町が行った行政措置ならびに「調査の必要なし」と言わんばかりの一般質問への答弁に対する町長の感想を問う。

●答弁 影治町長  
本当にあつてはならないと思つている。信用回復、再発防止に努めていきたい。

質問

課税ミスに限らず、不祥事が起きた場合公表を避けながら「隠蔽する気はない」と口では言うが、実際は公表せず隠している。それは原因究明も再発防止もできない。大事なことは①ま

ず公表する。すると次に②調査研究できる。究明できれば③再発防止ができる。町長は勇気をもって、まず公表することを心掛けて欲しい。



## ① タブレット端末の導入検討を

答 弁

検討は進めており、今後、システムの内容や、セキュリティ、保守管理料等について協議を進める。



議員  
寺下 博子

質 問

資料印刷費の経費削減や業務の効率化につながる、タブレット端末の導入について検討されているのか。また、その場合、試算はどの程度か。

●答弁 磯野総務企画課長

現在も、建設課で地籍調査の現地資料の確認等で活用しており、運用範囲の拡大を検討している。

検討段階での試算は、各課1台程度、議員に1台とし約45台、システムも含めて約750～1200万円

である。

質 問

議会の一般質問や会議においても説明資料提示に活用するのは可能か。

●答弁 磯野総務企画課長

議案書や説明資料など紙ベースの資料や写真についても端末を通して情報共有ができ、効率的、かつ効果的であると考えており、システムを導入することで可能となる。

質 問

議会事務局や行政からの連絡においても効率的に行えると考えるが、可能か。

●答弁 磯野総務企画課長

WiFi環境等オンラインであれば可能になるが、今後、システムの検討のなか

で、セキュリティの面も含めて考えていく。

## ② 子ども農山漁村交流プロジェクトの取り組み推進に向けて

答 弁

受け入れ家庭の確保や体験を含む後継者対策など、受け入れ体制の充実が当面の課題である。

質 問

次期、小学校学習指導要領において、体験活動の重視や取り組みの推進が明記された。子どもたちを送り出す側として、今後どのように対応していくのか。

●答弁 寺内教育長

学校側としては、集団宿泊体験活動は、授業時数確保の面から考えると取り組みにくい活動となるが、今後、県教育委員会の指導、各学校の意見も聞き取りながら対応していきたい。

質 問

本町は魅力ある受け入れ側であり、現在でも南阿波よくばり体験で民泊事業を展開されているが、現状は。

●答弁 小坂産業振興課長

海部郡3町で実施している南阿波よくばり体験の実績は、平成28年度で、18校2127人を受け入れ、収入は、2億9720万3千円である。3町が負担した公費は、国及び県からの5442万1千円の補助を含め、1億1363万2千円。現在の課題は、地域の持続

や活性化という観点から負担に見合う以上の結果が得られるようにいかにして取り組んでいくかが重要だと考える。

質 問

事業の推進に向けて、人材確保、人材育成は必須である。様々な交付金や交付税措置が実施されているが、それらの活用は考えているのか。

●答弁 磯野総務企画課長

町でも人材育成事業補助制度を設けており、補助率は二分の一となるが対象となる。また、地域協力活動に該当することから、地域おこし協力隊としての募集は可能であると考えている。



## ① 町長3選後における第一次産業の具体的な振興策は

**答 弁** 各産業の既存振興策を継続・支援しながら新振興策を模索したい。



議員 永本善次郎

### 質問

町長は3選後の抱負として、第一次産業の発展に力をいれたい。と発言しているが、長期低迷状況である農業・漁業・林業を今後どのように立て直し再生するか。

### ●答弁 影治町長

今までの取り組みを行いながら、新たな振興策が見つかればいいと考えている。農業については、海部郡3町等が取り組んでいる「きゅうりタウン」構想、今年から始めたWCS、ま

た、専門的な農家については、菜の花・オクラ・ブロッコリーが振興作物であり、これらは高齢者でも栽培しやすい事から今後、栽培面積を増加する方向で支援していきたい。ドクダミについても栽培が推進されればいいと感じている。漁業は、美波町のブランドがアワビ・伊勢エビとなっており、今後は町・水産研究科等関係者と協議しながら資源管理をしていきたい。又、ひじき海藻の育成についても関係者と協議していきたい。林業については、森林組合がしっかり事業できる環境づくりを町として支援したい。

(注) WCS: 稲の穂と茎葉を同時に収穫し、乳酸発酵させた貯蔵飼料です。

## ② 水産高校跡地の活用は

**答 弁** 活用検討協議会を立ち上げ協議している。

### 質問

水産高校跡地の払い下げ、活用方法について、県が活用方法を地元で求めているように聞いているが、町として活用方法を考えているのか。

### ●答弁 山路副町長

グラウンドについては平成28年4月から健康増進の場等として無償貸付けを受けている。跡地は、徳島県からの打診により平成19年から県教委・南部総合県民局・美波町で検討していたが有効な活用方法がなく平成22年度に協議を中断していた。平成28年度に上記3者で活用検討協議会を立ち上げ部会も含め4回の会議を開催し、災害時の避難施設等いくつかの案が出たものの、具体的には至っていない。

今年度中に最終の方向性がまとまると考えているが、財政負担を考慮しながら、



水産高校跡地

この施設が地域振興のために活用されるよう協議を進めていきたい。

## ③ 西河内の永田橋付近に公衆トイレの設置を

**答 弁** 必要であれば、簡易トイレの増設を検討したい。

### 質問

永田橋周辺の水泳客が年々増加し、多い日には一日500人位が来ている。今の簡易トイレでは、充分対応できていない。積極的に川の水泳場と指定して公衆トイレを設置してほしい。

の条例が定められていない現状であり、日和佐川の増水の状況等を考えると県から許可を受けることは容易ではない。このことから仮設トイレの増設を検討したい。

### ●答弁 花木住民生活課長

水泳場の指定については、様々な確認項目があり、徳島県では、環境や安全面で

### ●答弁 影治町長

永田橋周辺については、水泳場などの計画は考えていない。必要であれば、簡易トイレの増設を検討したい。

# ① 税金負担の軽減策、徴収・滞納、不納欠損等の対処は

**答 弁**  
関係条例に基づいて処分は公正にやる。負担軽減への法定外繰り入れをするかはわからない。



議員 戎野 博

額が売買実取引額に合っていないのは是正すべきではないか。

滞納の実態と調整会議の改善対応は。非常に多い不納欠損の額と対策への取り組みは。

## 質 問

①町・県民税の還付、徴収漏れについて、6年間に渡って、町・県民税の還付ミス（119人、約238万円）と徴収漏れ（65件約75万円）がチェック出来ずに来た原因は何故なのか。任命責任者としての町長の責任は。

●答弁 山路副町長

監督責任については、今回の事案を重く受け止め、事務処理に関わった職員、担当課長に係る処分は関係条例に基づき厳正に対処する。

●答弁 影治町長

厳正にというのは厳しくっていう意味ではなく、関係条例に基づいて公正にやるという意味だ。

私の管理・監督責任はしかるべき時に、しかるべき

判断をさせていただく。法定外繰り入れをするか、どうかも言えない。

●答弁 別宮税務課長

①年金に関しては平成23年から3年間の、修正申告に還付ができていなかった。

②国保税の税負担軽減策としては、特定検診の継続受診や特定保健指導で医療

費の抑制を図りたい。

③固定資産税の3年に一度の評価替えが来年行われる。固定資産税の滞納額は約2099万円（28年度滞納分約576万円、平成27年以前滞納額、約1523万円）

その欠損処理は28年度決算で約1762万円。

# ② 公共工事等の指名競争入札の談合防止策、公平な入札確保の取り組み

## 答 弁

要綱に基づき工事審査委員会です業者選定を行う。町のホームページで入札結果を公表している。

## 質 問

公共工事等の指名競争入札において公平な入札確保はできているのか。

地元事業者の育成参加への対応は。指名業者の選定責任者は、「公平な入札の確保が妨げられた疑い」との指摘に対する公平な入札確保、談合防止策への取り組みは、どうなのか。

●答弁 浜水道課長

指摘の赤松配水池監視装置の件では水道施設の工事であり、特殊な計装盤、特殊電気工事で町内の電気業者が取られても全部下請けに出さないと出来ない。指名願いが出ている水道施設届け出業者を指名したわけ

で、町の電気工事業者は該当しない。水道業者として計装盤の設置が出来る業者を選定した。

●答弁 鶴木建設課長

建設工事審査委員会（山路委員長）において、工事発注の等級に応じて業者の選定を行う。指名業者の選定は町内業者を最優先にし、地元業者参加・育成には工種、発注金額を考慮の上、可能な限り分割発注を行うようにしている。

競争入札参加資格申請をしていない方でも小規模工事や修繕等の受注希望登録を受け付け、町内業者の受注拡大に努めている。平成29年度発注の建設工事から町のホームページで入札結果を公表し透明性向上に努めている。

予定価格の事前公表や最低制限価格についても入札執行時にくじ引きにより決定しており、価格漏洩による談合防止に努めている。

# 美波町の漁業者との 意見交換会

7月7日(金) 由岐公民館 大会議室にて開催

美波町の7漁業組合から漁業者25名と議会との漁業振興に関する意見交換会を開催しました。意見交換会は4班のグループに分かれての「車座会議」で行いました。

- ・漁業者の高齢化と後継者問題について
  - ・磯焼けなど漁場の環境整備について
  - ・アワビの稚貝やヒラメ、タイの稚魚の放流・養殖事業について
  - ・6次産業化への加工や販売（流通）等について
  - ・港湾の浚渫やテトラの設置などの漁港整備について
  - ・港にある永年放置している船の放棄対応や廃船処理について
  - ・各組合の水揚げ場、事務所、倉庫や類似する施設など県有地の借地料について
  - ・密漁などの漁場の取り締まり強化や看板設置について
- さまざま意見をいただきました。  
今後貴重なご意見や要望等を行政側に伝え、議会また総務産業建設常任委員会も、漁業振興に取り組みたいと思います。



## 赤松小山の潜水橋



さらさらと流れるなんとも言えない風情。豊かな河畔林を従えて流れゆく水に心洗われます。小さなコンクリート造りの潜水橋は、昭和30年頃には細くて高い丸太橋でした。渡る人々の度胸試しでもあったそうです。一度訪れてみては…

### 編集後記

全国町村議会広報研修会に参加して、編集体制・企画構成・デザイン・言語文章・表紙写真の「5つの視点」により広報の善し悪しが大きく変わることを学びました。

今回はその取り組みの始めとして、特に企画構成・表紙写真に留意しましたが、親しまれる広報づくりの難しさを改めて感じた次第です。今後も研修結果を生かし魅力ある広報づくりに努めたいと思います。

編集委員：松本 晋児

### ● 議会広報特別委員会 ● (お問い合わせ・ご意見は TEL：77-3630へ)

委員長：松本 晋児 副委員長：寺下 博子 委員：舛田 邦人 委員：向山 篤宏 委員：丸龍 孝敏